

# 教育と環境の

さわやか

# 「爽」企画室

会報 第64号

2011.12

発行/教育と環境の「<sup>さわやか</sup>爽」企画室・代表 片桐 和子

住所:新潟市西区五十嵐東2-11-25

電話:025-260-0568 / FAX:025-260-0568

E-mail: [sawa@opaz.plala.or.jp](mailto:sawa@opaz.plala.or.jp)

URL: <http://www14.plala.or.jp/sawayaka-kikaku/>



## ◆◆ 400mトラックが出来る大グラウンドの土地を確保しました！ ◆◆

2011年8月、現地でカウンターパートのNGOニューホープや地主と激論の末、遂に懸案の400mトラックが出来る、ギリギリの120m×200mの広さの土地を確保出来ました。

価格は1,000万円の予算を倍近くもオーバーしましたが、発展目覚ましいインドでは、片田舎のコッタバラサでも、土地の高騰がすでに始まっていました。荒野の中のオアシスだった、この「子どもの憩いの村」の周辺は、宅地造成が始まっており、唯一手つかずの荒地が、学校の右わきに残されていたのは、ラッキーでした。これが、グラウンドになるのかしら？と不安になるほどの藪と原野の役に立ちそうもない土地でしたが、いざ、買うとなると、100人もの地主？が名乗りをあげて、土地購入の手続きやら何やらで、カウンターパートのNGO代表ローズ氏を悩ませました。しかし、今、購入しておかないと、こんな荒地でもどんどん価格が上昇するでしょう。思い切って、購入することにしました。ローズ氏の心痛は、持病の糖尿病を悪化させる程でした。このように、私どもと夢を共有し、献身的に身を粉にして尽くしてくれる相棒があればこそ叶えられるのです。

この土地購入にあたっては、5月のNHKラジオ深夜便「明日へのことば」で2晩にわたっての私どもの話に同情？したリスナーが、全国から励ましの言葉と支援の手を差し伸べてくださったお陰で、私どもはこの大プロジェクト着手に踏み切ることが出来たのです。中には、「これは、不治の病に伏す私の願いをあなた方に託すのです。私の分も頑張ってください！」と、病院のベッドから檄を飛ばしてくださった方もおられ、私どもは、そういった方々の祈りを背中に受け止めて、これからも子どもたちのために頑張ってまいります。

## 2011年8月後半～12月の多彩な行事・出来事

### 8月30日、週刊誌「女性自身」に「子どもの憩いの村」が掲載されました

週刊誌「女性自身」9月13日号に、「パワフル・マダム」（パワフルマダム）と題した、「インド・子どもの憩いの村」の写真記事が掲載されました。8月のインド訪問に同行された記者とカメラマンの記事が、5ページにわたって掲載されています。ホームページにアップしましたのでご覧ください。子どもたちの生き生きとした表情が、秋倉康介カメラマンの目線で、一層リアルに躍動感にあふれ、見事に描写されています。プロはさすがです。

### 9月10日、11日、「新潟国際フェスティバル」（新潟ふるさと村）を盛大に開催

「にいがた NGO ネットワーク」主催による大イベントです。

深紅のTシャツを着た、学生ボランティアが忙しく行きかう中、新潟県に拠点を置く、10余りの国際協力団体は、テントの中でそれぞれが支援する国のアピールや物品販売に声を囁かしました。屋内のアピール館では、現地の活動をパネルで紹介しました。

屋外のステージでは、民族衣装のファッションショーやダンス・歌などが華やかにダイナミックに繰り広げられました。また、それぞれの団体のコマーシャルは、お笑い集団「なまら」司会による巧みな誘導で、笑いを誘いながら、ホットに進められ、少しお堅いイメージの国際協力活動も、こんな形で、社会へ理解されていくのかな、と思いました。

### 9月23日、プレゼンテーション「サービスラーニング 50日間の発見」大成功！

新潟市の「クロスパルにいがた」で開催した、夏休みの50日間をインド「子どもの憩いの村」で、子どもたちと生活を共にし、日本語学習を担当した、国際基督教大学2年生の丸山彩也香さんの発表でした。動きのあるパワーポイントで、子どもたちとの交流や施設での取組みを分かりやすく解説してくれました。20名近い参加者には、大学関係の教授や学生さんも見え、興味深く、質問も受けたり、和やかな雰囲気の中にも、施設の将来の運営面にまで考察した素晴らしいレクチャーで、今後の取組みに大いに参考になりました。

### 9月30日、上越教育大学・附属中学校3年生にレクチャーしました。

そば降る雨の中、蓮池のハスの実が重く頭を垂れている、全国でも珍しい公園内の学校でした。生徒たちは、元気よく挨拶をして通り過ぎて行きます。来客慣れしているとはいえ、清々しい感じで好感が持てました。授業は2時間もいただき、長丁場でしたが、パワーポイントやDVDを使いながらの私ども夫婦二人の話を熱心に聞いてくれました。

### 10月2日、「チャリティコンサート in 新潟 “Yucca”」は大成功でした！

新潟テルサを会場に、「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」（石川幸夫会長）主催のチャリティコンサートは、大勢のお客様を迎えました。私どもは、学校建設のために毎年、200万円ずつのご寄付を頂き、3回目の今回をもって終了となります。2012年3月、遂に学校は完成します。皆様の尊い善意の賜物です。本当にありがとうございました。

### 10月21、22、23日、「国際交流・協力団体発表・展示会」に参加しました

「新潟市国際交流協会」主催のイベントです。新潟市中央公民館の文化祭と併せてのもので、私どもは例年、パネル展示とフェアトレードで参加しております。文化祭に来られた、直接、国際協力には関係のない方々も顔をのぞかせ、少しずつ、関心も広がって来るようで、意義ある催しだと考えます。折角のチャンスをくださった、市国際交流協会に感謝します。私どものような弱小団体は、単独ではなかなか出来ないですから。

### 10月29日から12月2日まで、住友信託銀行でパネル展示・写真展を行いました

住友信託銀行と中央三井信託銀行は、三井住友トラスト・グループとして、ナショナル

ル・トラスト活動を応援しているそうです。貴重な自然環境や歴史的・文化的資産を、市民の力で買い取り、開発と破壊から守り、後世へと引き継ごうという、世界的な視野に立っての活動をやっておられることを、社誌「With you」で知りました。なお、2011年9月発刊の冊子に、私ども夫婦の記事が掲載されました。社会貢献活動のもう一つの取り組みである、サクセスフル・エイジング活動の紹介ということで、「人生に余りはない」のタイトルで、掲載されています。ホームページに載せましたので、ご覧ください。

#### **11月28日、一人暮らしの高齢者を支える友愛訪問の関係者の集いでお話しました**

私どもの住む町内（清心町自治会）の集りで、お話させていただきました。元気な高齢者がお一人暮らしの高齢者と交流するシステムで、老人会が中心となり、地域の福祉協議会が指導しています。温かい雰囲気の中で、和気あいあいの中、会が運営されました。私も老人会の一員です。講演の後の昼食会には、手作りの具だくさんのお汁が出され、食後には、お茶を嗜む、会員提供の薄茶が振舞われました。楽しい会でした。

#### **12月9日、早通小学校2年生の授業に参加しました**

新潟市立早通小学校で2年生の授業研究ということで、緊張しましたが、子どもたちは、とても活発で、私の難しい質問にも素直に真剣に回答してくれて、感動でした。

学級目標は「すなおな心」、青年教師の情熱の伝わるホットな学級経営がなされていました。子どもたちの感想と 생각이送られてまいりました。後日、ホームページに掲載いたします。幼いながらもきちんと 생각이記されており、感激しました。

#### **12月12日、「インド・子どもの憩いの村」にクリスマスのプレゼントを発送**

例年の活動となった、「インド・子どもの憩いの村」の子どもたちにクリスマスのプレゼントを発送しました。多くの皆様からたくさんのプレゼントが送られて来ました。毎年送ってくださる方も増え、今年は、郵貯の一番大きい「ゆうパック」の段ボール箱5箱にぎっしりと詰められ、皆様の「愛の真心」と共に航空便で空を飛んで行きました。

19日には、無事届いたというメールと写真が送られて来ました。ブログに写真を掲載しましたのでご覧ください。

#### **12月18日、「朱鷺メッセ「フェスタ万代島2011」にバザーで参加しました**

新潟市の朱鷺メッセで、「フェスタ万代島2011」（10：00～15：00）が開催され、私どももバザーとパネル展示で参加しました。FM PORT主催のクリスマスの楽しいイベントで、たくさんの景品も当たるくじもあり、参加することに意義ありでした。

#### **12月29日、新潟総合警備保障（株）および関係会社様にご寄付くださいました**

片桐昭吾が勤務する新潟総合警備保障（株）および関連会社より、グラウンド建設費にと、募金が届きました。一職員の活動のために、職場ごとに募金箱を設置し、募金に取り組んでくださったのです。年の瀬が迫り、何かと物入りもあるこの時期に、このような取り組みをされたことに深く感銘を受けました。ありがとうございました。

#### **トピックス**

#### **★「ニューエルダーシチズン大賞」で入賞しました！**

2011年10月24日（月）、読売新聞社（代表取締役社長・編集主幹 白石興二郎氏）主催の「第11回ニューエルダーシチズン大賞」において、自立し創造的な生き方が、社会に夢と希望を与えるものと認められ、私ども夫婦は、入賞の栄誉を頂戴しました。300人近い推薦応募の中から、108歳の女性が「大賞」を、100歳の男性が「読売新聞社賞」を獲得、8組の入賞者の中では、私どもは最年少でした。70歳以上が応募資格でしたが、100

歳を超える方々には、脱帽以外の何物でもありません。益々努力を重ねなければと胆に銘じました。ホームページに新聞記事を掲載しましたので、ご覧ください

★ 「社会貢献者表彰」受賞！表彰式に参列しました。

2011年11月21日（月）、「社会貢献者表彰」受賞にあたり、帝国ホテル東京を会場に、公益財団法人社会貢献支援財団主催（日下公人会長）の表彰式並びに祝賀会に参列いたしました。ホームページに新聞記事を掲載いたしました。なお、表彰式並びに祝賀会場の様子を写真に収めましたので、併せてご覧ください。

来賓として、新潟国際情報大学の平山征夫学長（前新潟県知事）が参列されました。いつも温かなお言葉と笑顔で激励して下さいます。十日町市から、理事の丸山恵さんが長女の彩也香さんとお祝いに駆けつけて下さいました。ありがとうございました。

表彰式の様子を撮影したDVDが後日、送られて来ました。儀式とはかくあるべきものという見本のようなセレモニーの様子は、大変感動的で心に沁みるものでした。

★ FM PORT「エチゴリアン～トキめき新潟人～」でトークしました！

2011年12月19日（月）から23日（金）まで、FM PORT「エチゴリアン～トキめき新潟人～」(6:30～6:50)のトーク番組で、ナビゲーターの南雲和子さんのソフトで優しい導きのお陰で、普段のまま気兼ねなくお話させていただきました。CDに収めました。

**2011年度、今後の取組み**

★ 新年早々、NHKテレビ放送の夕方ニュース番組に出演します。ご覧ください！

2012年の年明け、1月4日（水）は新潟県、1月5日（木）は東京都と茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川の各県で、いずれも夕方のNHKニュース番組18:10～19:00の間に放送されます。突発的な重大ニュースがあれば、変更もあるそうですが、その時はお許しください。新年早々で、辰年の縁起の良い幕開けとなりそうです。

東京や他県にお知り合いのある方は、ぜひ見ていただくようにお知らせいただければ幸いです。違った編集でまとめられてあるそうで、私どもは見る事が出来ず、残念です。

★ 2012年3月26日（月）から3月31日（土）「インド・子どもの憩いの村」の学校の開校式に行ってきます。

2011年度の締めくくりは、待望の学校の開校式です。そして、ニュー・グラウンドの地鎮祭も予定しています。子どもたちやスタッフが今か今かと待ち望んでいる開校に向けて、ローズご夫妻の心痛とご苦勞を思うと、私どもは気もそぞろで、この大空を渡り鳥のように飛んで行けたらと願うばかりです。私どもは、現地では、今まではお客様のように迎えられるましたが、この度ばかりは、ローズご夫妻やスタッフの大いなる愛情と苦勞をねぎらわなければなりません。そのため、今回の訪問は、一般公募は行わず、私どもとセレモニー関係の方々だけに絞らせていただきました。通訳も経験豊富な方が同行されます。皆様、全て自費参加で、ボランティアとしての参加です。感謝の気持ちでいっぱいです。

セレモニーの様子や現地の現状は、私どもの活動記録を当初から撮り続けて来られた、バナナプロダクションの平澤社長様によるDVDや、現地スタッフによる渾身の映像で皆様に報告いたします。ご期待ください。

なお、今後、改めて、スタディツアーの計画や学生ボランティアの募集もいたしますので、その時はぜひご参加ください。日本の皆様の訪問を、子どもたちは今か今かと待ち望んでおります。遥か遠く離れていても、インドの友情は、いつも明るく率直で情熱的です。

多くの方々に訪問して頂くための様々な企画も模索しております。ご意見ください。

本年のご厚情に感謝し、来年もまた、一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。